

戦前期日本の 教育・メディア・身体

本セミナーは社会学・民俗学・教育学などの近接領域で研究を行う若手研究者・院生間の交流の機会を通して、領域横断的な思考、コミュニケーションの能力の鍛錬等を目的とします。具体的には、戦前期の日本における各種メディア(映画、音楽、図書等)を事例とし、当時の教育のあり方や民衆の身体の様相にまで視線を注ぐことを企図しています。さらに報告者・参加者の研究素材が持つ可能性も探ります。

日時 2010年12月18日(土) 13:00～17:00

会場 文学部北棟3階 N339教室

～プログラム～

第一部 若手研究者による基調講演 (13:00～15:00)

「戦前期を対象としたメディア研究の蓄積・可能性・困難
——ライブラリー・ワークとフィールド・ワークのはざままで——」
島岡 哉氏(仁愛大学講師)

「民謡の正調化過程とメディア
——文化資源としての民謡の活用——」
濱千代 早由美氏(皇學館大学非常勤講師)

休憩 (15:00～15:30)

第二部 院生報告 (15:30～16:00)

「戦時下における文部省推薦図書
——読む人、書く人、読ませる人——」
岡崎 沙織(奈良女子大学大学院社会生活環境学専攻)

第三部 ディスカッション(16:00～17:00)

■参加費・事前申し込み不要

■問い合わせ先: 岡崎 沙織(社会生活環境学専攻 二年)

E-mail: has_okazaki@cc.nara-wu.ac.jp

■託児サービスの提供(有料)を検討しております。利用を希望される方は、12月10日(金)までに託児サービス担当者(大淵 day.oobuchi@cc.nara-wu.ac.jp)までお問い合わせください。